

・・・第23回社会福祉実践家のための臨床理論・技術研修会 開催報告・・・

第23回社会福祉実践家のための臨床理論・技術研修会

ソーシャルワーク実践を支えるスーパービジョン

2009年10月24日（土）10:00～17:00

明治学院大学社会学部付属研究所主催

基調講演

ソーシャルワーク実践を支えるスーパービジョン

講師：堀越 由紀子（田園調布学園大学 教授）

～75名の皆さまにご参加いただきました。ありがとうございました～

●●●・・・研修会ご案内・・・●●●

人口減少時代を迎えた人びとの「暮らし」は、いっそう不安定さを増し、ソーシャルワーカーは、多様な生活課題への向き合いを求められています。そのことと併せて、社会福祉領域には他職種の参入が進むことになり、連携・チーム実践を通じてソーシャルワーカーとしての実践力・実践の質が厳しく問われることとなりました。その一方で、ソーシャルワーカーが利用者との間で、あるいは組織内で引き起こす不祥事（＝逆機能現象）は後を絶ちません。

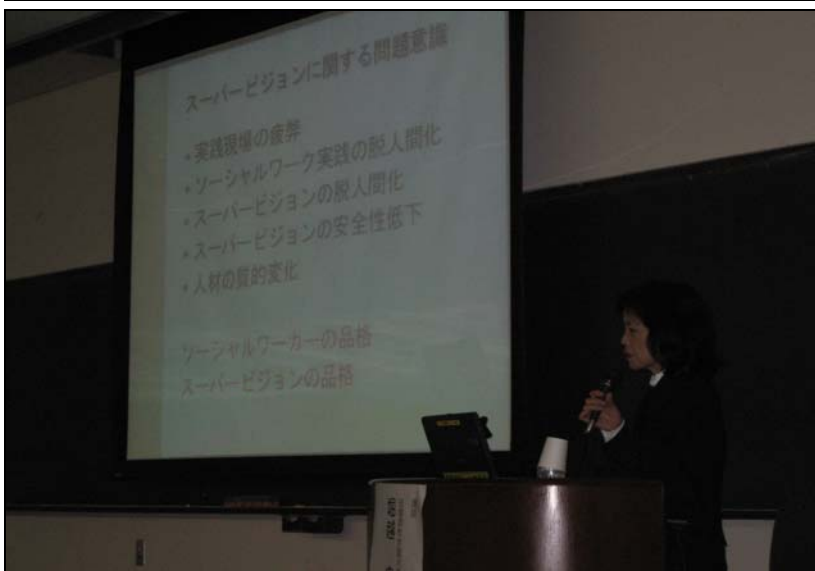
かかる状況を踏まえ、本研修会では、ソーシャルワーカー間における協働作業としてのスーパービジョンについて学びたいと思います。社会福祉専門職として「自明」のように取り組んできた「仕事」を一度はシャッフルし、利用者・当事者の「暮らし」を「平均化」して捉えることをしないソーシャルワーク支援を構築できるスーパービジョンのあり方を考える機会を企画してみました。スーパービジョンの過程がソーシャルワーカーによる「相互学習」「相互批判」の場として「育ち」を後押しする機能となることを体験する一日になるに違いありません。

<基調講演講師：堀越 由紀子（ほりこしゆきこ）先生のプロフィール>

上智大学文学部社会学科社会福祉学専攻卒ならびにルーテル学院大学総合人間学研究科社会福祉学専攻修了、現在同大学院博士後期課程在学中。1978年4月～2004年3月北里大学病院および北里大学東病院において医療ソーシャルワーカーとして勤務、2004年4月より現職。

専門分野：保健医療分野のソーシャルワークの歴史的考察ならびに保健医療と協働するソーシャルワーカーの力量形成過程。 著書（共著）：河野友信・若倉雅人編（2003）「中途視覚障害者のストレスと心理臨床」銀海舎、日本医療社会事業協会編（2004）「保健医療ソーシャルワーク実践」中央法規など。

基調講演 当日の風景



ワークショップ 当日の風景

● ワークショップA「新人ソーシャルワーカーにとってスーパービジョンとは？」

講師：平野 幸子（明治学院大学社会学部附属研究所ソーシャルワーカー）

コーディネーター：根本 久仁子（聖隷クリストファー大学准教授）

* 対象：実務経験3年程度までのソーシャルワーカー

～ワークショップAには、14名の皆さんにご参加いただきました～



各自のワークシートを基にグループディスカッション中です。



グループディスカッションで出し合ったことを報告しました。

● ワークショップB「中堅ソーシャルワーカーのスーパービジョンシステム
～ソーシャルワーク発展への貢献～」

講師：堀越 由紀子（田園調布学園大学教授）

コーディネーター：大瀧 敦子（明治学院大学教授）

* 対象：実務経験3年以上、主に相談支援中心の実践をするソーシャルワーカー

～ワークショップBには、23名の皆さんにご参加いただきました～



グループ内で事例について検討しています。



講師の堀越先生によるまとめ

● ワークショップC「ソーシャルワーク実習生へのスーパービジョン」

講師：池田 雅子（北星学園大学教授）

コーディネーター：北川 清一（明治学院大学教授）

*対象：ソーシャルワーク実習を担当するソーシャルワーカー

～ワークショップCには、20名の皆さんにご参加いただきました～



ロールプレイを行いました。



講師の池田先生によるまとめ